

## 基本姿勢

### 目標とする銀行像

#### 『お客さまから選ばれ続ける銀行』

お客さまの満足を第一とする**心（ハート）**を大切にし、  
お客さまの良き相談相手として**知恵（ブレイン）**を絞り、  
汗をかき**行動する（アクション）**銀行をめざします。

#### 経営基盤の強化

統合シナジー効果を早期に実現することで、より磐石な営業基盤の構築と高い収益力を確保します。

#### 地域経済への貢献

地域のお客さまとのリレーションシップを強化し、地域金融の一層の円滑化に資するとともに、企業市民として地域経済の発展に貢献する銀行であり続けます。

#### 多様かつ高度な総合金融サービスのご提供

多様化するお客さまのニーズに対して、お客さまの声を受け止め、お客さまの満足を第一に考え、高度でかつきめ細やかな総合的金融サービスをご提供してまいります。

## 主要戦略

### 1 収益力の強化

◎店舗統廃合・システム統合を実施することで、効率化による経費削減効果を実確なものとし、平成20年3月期から「攻めの経営」への転換をはかる。

経費削減効果により、新規出店などの再投資計画を推進する

◎店舗や本部組織の統廃合による余剰人員を営業に振り分け、新しい営業拠点を積極的に展開する。

個人取引特化型店舗・住宅ローンセンターを含めた営業拠点増設/営業人員の大幅な増強

### 2 財務基盤の更なる強化

◎抜本的な不良債権処理は完了したが、更なる不良債権比率の低減を目標とする。

不良債権比率4%台の早期達成へ

◎新紀陽銀行の「攻めの経営」戦略を下支えすべく、「より強固な自己資本」を確保する。

金融機能強化法に基づく公的資金（抜本的組織再編成）の活用

### 3 継続的な成長を支える組織・制度の強化

◎経営戦略と一体となった、充実した収益管理制度などの経営管理体制のインフラ整備を進め、経営計画の進捗管理と継続的改善をはかる。

◎営業体制の再構築とともに人事制度の改定を行い、活力ある人材の育成と登用を積極的に推進する。



## 計画のステップアップと取り組み

### 第3ステップ

平成21年  
3月期

- 更なる飛躍に向けた体制整備の完了  
(コア業務純益230億円の安定確保)  
(新たな投資効果の実現)

### 第2ステップ

平成20年  
3月期

- 「攻めの経営」への転換  
営業体制の再構築による営業力強化と  
経費削減効果の再投資

### 第1ステップ

平成19年  
3月期

- 合併による徹底した効率化と  
経費削減効果の実現

### 基本姿勢

経営基盤の強化

地域経済への貢献

多様かつ高度な  
総合金融サービスのご提供

### これまでの主な取り組み

- 営業体制の強化により、平成20年3月末までに営業人員を235名増強し、営業拠点を7ヵ所新設しました。
- 経費については、統合効果等により、平成19年3月期には前期比10億円の削減、平成20年3月期には前期比9億円の削減となりました。
- 事業先のお客さま専用店舗2ヵ店(大阪東支店、大阪北支店)、個人のお客さま専用店舗2ヵ店(西脇支店、泉大津支店)、ビジネスサポートセンター(田辺、岸和田)、住宅ローンセンター(大和高田、光明池)を開業いたしました。

## 計画の進捗状況

### 紀陽銀行単体

(単位:億円)

| 目標項目 | 平成19年3月期<br>実績        | 平成20年3月期 |        | 平成21年3月期<br>計画 |             |
|------|-----------------------|----------|--------|----------------|-------------|
|      |                       | 実績       | 計画対比   |                |             |
| 規模   | 預金等残高(譲渡性預金含む)(未残)    | 30,935   | 32,421 | +1,121         | 3兆3,000億円以上 |
|      | 貸出金残高(未残)             | 21,114   | 22,725 | +955           | 2兆2,000億円以上 |
|      | (うちローン残高)             | 6,813    | 7,340  | ▲30            | 7,800億円以上   |
|      | 預かり資産残高(未残)           | 3,448    | 3,821  | ▲579           | 5,400億円以上   |
|      | (うち投資信託残高)            | 1,778    | 1,761  | ▲356           | 2,600億円以上   |
| 収益性  | コア業務純益                | 183      | 221    | +23            | 230億円以上     |
|      | コア業務純益ROA(コア業務純益/総資産) | 0.56%    | 0.66%  | +0.06%         | 0.68%以上     |
| 効率性  | OHR(経費/業務粗利益)         | 67.41%   | 61.64% | ▲3.25%         | 60%未満       |
| 健全性  | 不良債権比率                | 6.19%    | 5.09%  | ▲0.22%         | 4%台         |

※旧和歌山銀行との二行合算ベース

### 紀陽ホールディングス連結

| 目標項目 | 平成19年3月期<br>実績 | 平成20年3月期<br>実績 | 計画対比   | 平成21年3月期<br>計画 |         |
|------|----------------|----------------|--------|----------------|---------|
| 収益性  | 当期純利益          | 81億円           | 133億円  | +54億円          | 100億円以上 |
| 健全性  | 自己資本比率         | 11.58%         | 10.65% | ▲0.46%         | 11%以上   |
|      | TierI比率        | 8.51%          | 7.76%  | ▲0.49%         | 8%以上    |
|      | 繰延税金資産対TierI比率 | 22.0%          | 24.6%  | +0.1%          | 10%台    |